学校番号	1006

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	精選　古典Ｂ【改訂版】（三省堂）						
副教材等	古文解釈のための総合力を養う　完全マスター「古典文法」（第一学習社） 完全マスター　古典文法「準拠ノート　基礎固め」（第一学習社） 大学受験超基礎シリーズ　マドンナ古文単語（学研プラス）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

難しい印象を持たれがちな古典ですが、一つ一つ学習していくことで身近に感じられるようになります。数百年以上忘れられることなく伝えられてきた文章を読んでみましょう。

2　学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方・考え方を広くし、古典についての理解や関心を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	ａ．関心・意欲・態度	ｄ．読む能力	ｅ．知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	近代以前の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート・プリント等）	記述の確認 及び分析 （プリント・定期考査）	行動の確認 記述の確認 （ノート・プリント・小テスト・定期考査）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	d	e		
1	説話	「源氏物語（物語」	○	◎	○	a:物語を読み、その時代と社会に対する認識を深め、そこに描かれた人物像に触れ古典に親しもうとしている。 d:本文を正確に読解し、登場人物の行動や心情を読みとっている。 e:作品に関する文学史的な基礎知識を、正確な読解に結び付けている。	a:行動の観察・記述の点検 d: 記述の確認及び分析 e: 行動の確認・記述の確認
	物語	「初冠（伊勢物語)」	○	◎	○	a:歌物語を読み、話の展開を正確に読みとるとともに、和歌に託された心情を考えようとしている。 d: 正確な読解に基づいて、話の展開や登場人物の心情を理解している。 e:和歌の修辞の理解、および歌物語の知識を鑑賞に結び付けている。	a:行動の観察・記述の点検 d: 記述の確認及び分析 e: 行動の確認・記述の確認
2	史伝	「平家物語（能登殿の最期)」	○	◎	○	a:軍記物語を読解しながら主人公を中心とした多彩な登場人物の描写を味わうとともに作者の人間に対する観察眼・洞察力にふれようとしている。 d: 場面ごとの話の展開を的確につかみ、登場人物の人物像や心情を理解している。 e:語句の意味や重要な句形について、理解を深めている。	a:行動の観察・記述の点検 d: 記述の確認及び分析 e: 行動の確認・記述の確認
3	日記	「源氏の五十余巻（更級日記)」	○	◎	○	a:女性によって書かれた日記作品を読み、当時の宮廷女性の生き方を知ろうとしている。 d:作者の心情や感情を理解するとともに、登場人物の人物像について考えている。 e:日記文学に関する文学史的な基礎知識を、正確な読解に結びつけている。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の確認及び分析 d: 記述の確認及び分析 e: 行動の確認・記述の確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。